

北見市における景気動向調査報告書

< 第 IV 四 半 期 >

北 見 商 工 会 議 所

I. 調 査 要 領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調 査 時 点 令和4年4月22日

(2) 調査対象期間 令和4年1月～3月期実績および令和4年4月～6月期見通しについて調査した。

2. 調 査 対 象

北見市に所在する企業を対象に、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種150社をインターネット（Google forms）、FAXにより調査した。

3. 回 収 状 況

業 種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回 答 率
製 造 業	30社	25社	83.3%
建 設 業	30社	25社	83.3%
卸 売 業	30社	23社	76.7%
小 売 業	35社	24社	68.6%
サービス業	25社	20社	80.0%
合 計	150社	117社	78.0%

注) 本調査結果の中で、D・I値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）で
好転企業割合から悪化企業割合を差し引いた値を示す

《 全 体 の 動 き 》

2) 建設業

完成工事高

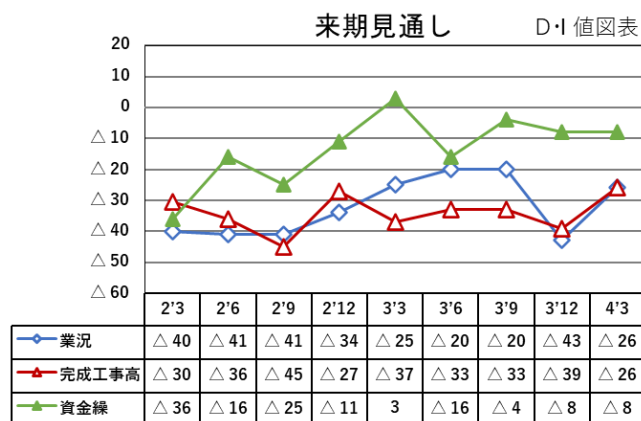
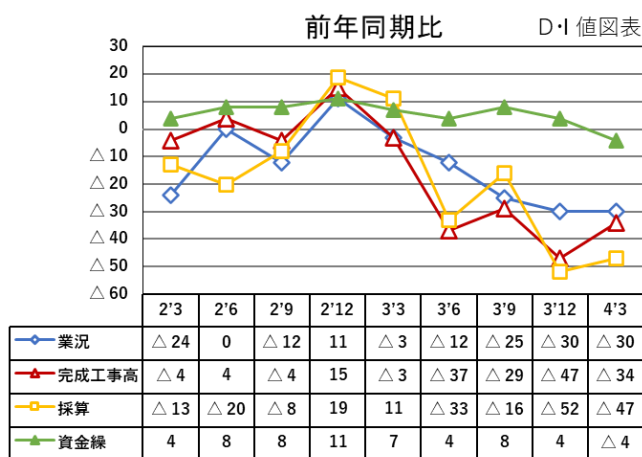
前年比で「増加企業」8.7%、「減少企業」43.5%、D・I値△34.8と、前年同期(△3.7)に比べ31.1ポイントの大幅な悪化となりました。

採算

前年比で「好転企業」8.7%、「悪化企業」56.5%、D・I値△47.8と、前年同期(11.1)に比べ58.9ポイントの大幅な悪化を示しました。

来期見通し

業況D・I値△26.1(前年同期D・I値△25.9)、完成工事高D・I値△26.1(同△37.1)、資金繰りD・I値△8.7(同3.7)と前年同期に比べ、完成工事高のみD・I値で改善傾向を示しました。



3) 卸売業

売上高

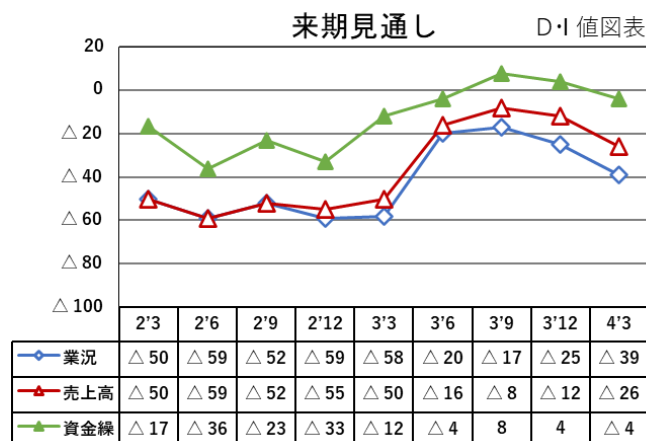
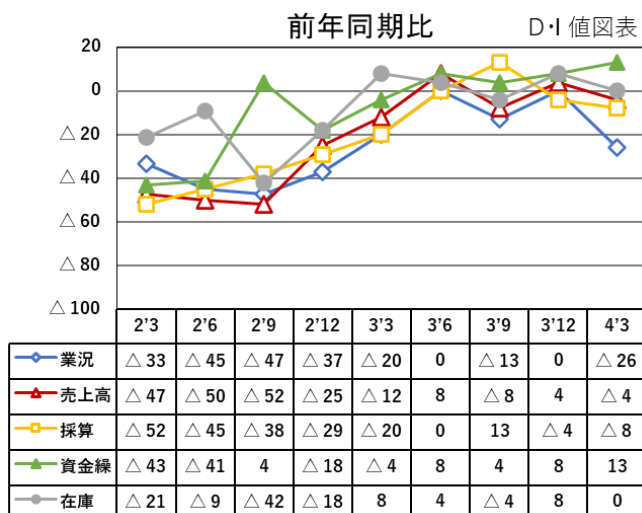
前年比で「増加企業」39.1%、「減少企業」43.5%、D・I値△4.4と前年同期(△12.5)に比べ8.1ポイントの改善傾向を示しました。

採算

前年比で「好転企業」21.7%、「悪化企業」30.4%、D・I値△8.7と前年同期(△20.9)に比べ12.2ポイント大幅な改善となりました。

来期見通し

業況D・I値△39.1(前年同期D・I値△58.4)、売上高D・I値△26.1(同△50.0)、資金繰りD・I値△4.3(同△12.5)と前年同期に比べ、すべてのD・I値で大幅な改善を示しました。



4) 小売業

売上高

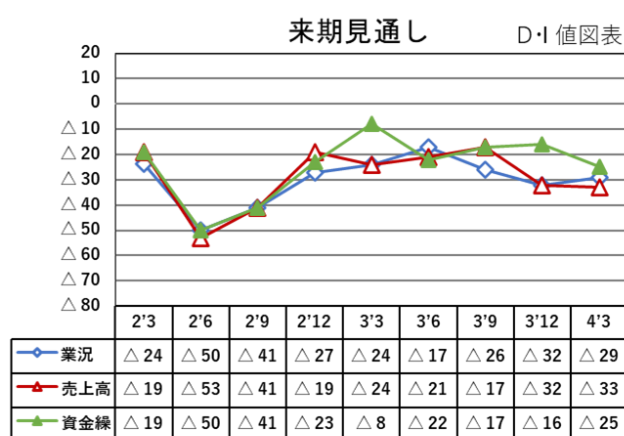
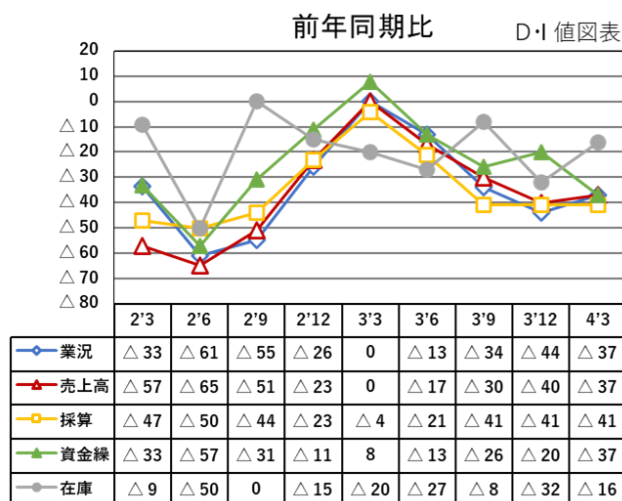
前年比で「増加企業」16.7%「減少企業」54.2%、D・I値△37.5と前年同期(0.0)に比べ37.5ポイントの大幅な悪化となりました。

採算

前年比で「好転企業」12.5%「悪化企業」54.2%、D・I値△41.7と前年同期(△4.0)から37.7ポイントの大幅な悪化となりました。

来期見通し

業況D・I値△29.2(前年同期D・I値△24.0)、売上高D・I値△33.3(同△24.0)、資金繰りD・I値△25.0(同△8.0)と前年同期に比べ、すべてのD・I値で悪化傾向を示しました。



5) サービス業

売上高

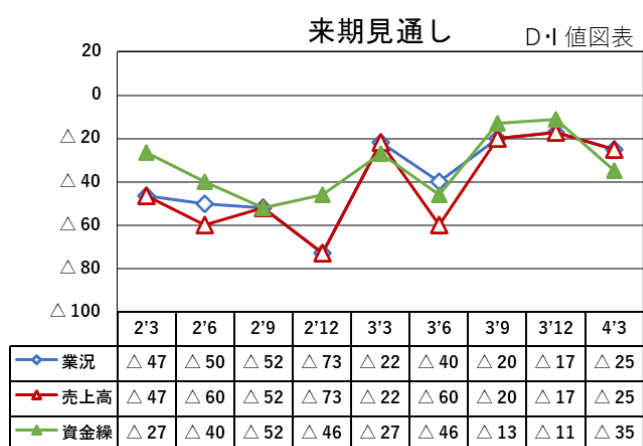
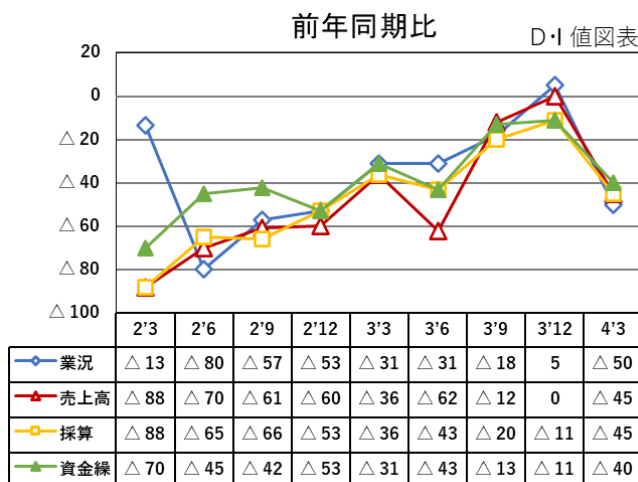
前年比で「増加企業」15.0%「減少企業」60.0%、D・I値△45.0と、前年同期(△36.8)に比べ8.2ポイントの悪化を示しました。

採算

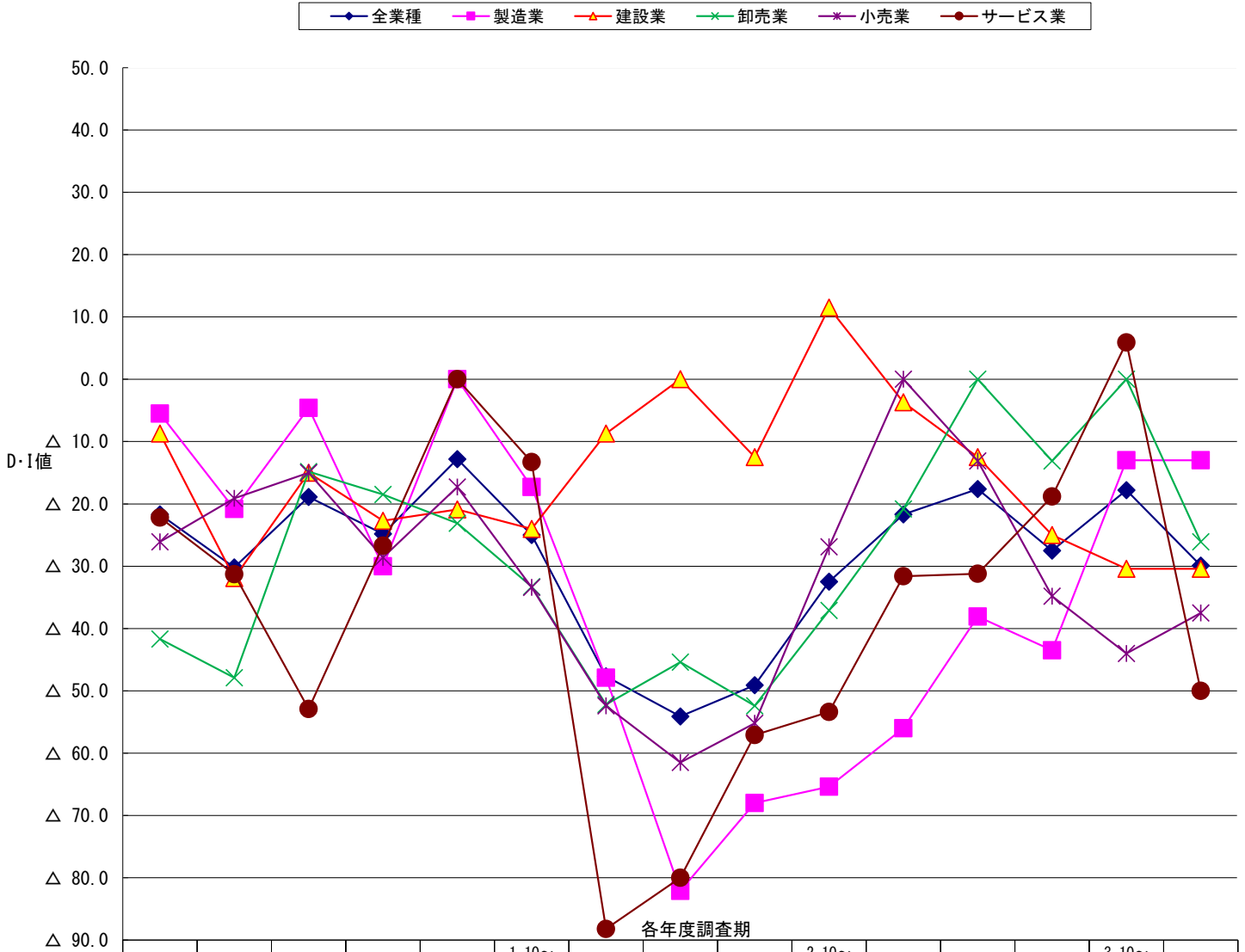
前年比で「好転企業」15.0%「悪化企業」60.0%、D・I値△45.0と前年同期(△36.8)に比べ、8.2ポイントの悪化を示しました。

来期見通し

業況D・I値△25.0(前年同期D・I値△22.2)、売上高D・I値△25.0(同△22.2)、資金繰りD・I値△35.0(同△27.7)と前年同期に比べ、前年同期に比べすべてのD・I値で悪化傾向を示しました。



各年度調査期における業況（前年同期比）のD・I値の比較



	30. 7～9	30. 10～12	31. 1～3	31. 4～1. 6	1. 7～1. 9	1. 10～1. 12	2. 1～2. 3	2. 4～2. 6	2. 7～2. 9	2. 10～2. 12	3. 1～3. 3	3. 4～3. 6	3. 7～3. 9	3. 10～3. 12	4. 1～4. 3
	平成30年度Ⅱ	平成30年度Ⅲ	平成30年度Ⅳ	令和元年度Ⅰ	令和元年度Ⅱ	令和元年度Ⅲ	令和元年度Ⅳ	令和2年度Ⅰ	令和2年度Ⅱ	令和2年度Ⅲ	令和2年度Ⅳ	令和3年度Ⅰ	令和3年度Ⅱ	令和3年度Ⅲ	令和3年度Ⅳ
全業種	△ 21. 7	△ 30. 2	△ 18. 9	△ 24. 8	△ 12. 8	△ 25. 0	△ 47. 7	△ 54. 1	△ 49. 1	△ 32. 5	△ 21. 7	△ 17. 6	△ 27. 5	△ 17. 8	△ 29. 9
製造業	△ 5. 5	△ 20. 8	△ 4. 6	△ 30. 0	0. 0	△ 17. 3	△ 47. 9	△ 82. 1	△ 68. 0	△ 65. 4	△ 56. 0	△ 38. 1	△ 43. 5	△ 13. 0	△ 13. 0
建設業	△ 8. 7	△ 31. 9	△ 15. 0	△ 22. 7	△ 20. 9	△ 24. 0	△ 8. 7	0. 0	△ 12. 5	11. 5	△ 3. 7	△ 12. 5	△ 25. 0	△ 30. 4	△ 30. 4
卸売業	△ 41. 7	△ 47. 9	△ 14. 8	△ 18. 5	△ 23. 1	△ 33. 3	△ 52. 2	△ 45. 4	△ 52. 4	△ 37. 1	△ 20. 8	0. 0	△ 13. 1	0. 0	△ 26. 1
小売業	△ 26. 1	△ 19. 1	△ 15. 0	△ 28. 6	△ 17. 3	△ 33. 4	△ 52. 4	△ 61. 5	△ 55. 2	△ 26. 9	0. 0	△ 13. 1	△ 34. 8	△ 44. 0	△ 37. 5
サービス業	△ 22. 2	△ 31. 3	△ 52. 9	△ 26. 7	0. 0	△ 13. 3	△ 88. 2	△ 80. 0	△ 57. 1	△ 53. 4	△ 31. 6	△ 31. 2	△ 18. 8	5. 9	△ 50. 0

業 種 別 経 営 上 の 問 題 点

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
製 造 業	諸 経 費 増	人 材 不 足	人 件 費 増	得 意 先 減 少	同業者間の競合
建 設 業	人 材 不 足	諸 経 費 増	人 件 費 増	同業者間の競合	得 意 先 減 少
卸 売 業	諸 経 費 増	人 材 不 足	同業者間の競合	人 件 費 増	得 意 先 減 少
小 売 業	諸 経 費 増	同業者間の競合	得 意 先 減 少	人 材 不 足	人 件 費 増
サービス業	諸 経 費 増	人 材 不 足	得 意 先 減 少	人 件 費 増	資金調達困難
合 計	諸 経 費 増	人 材 不 足	人 件 費 増	得 意 先 減 少	同業者間の競合

※ 問題点は、各業種とも3つ選択。

○全業種でみると、前回調査と比較すると、1位、2位の「諸経費増」、「人材不足」はそれぞれ順位が変わらず、前回3位、4位だった「得意先減少」、「人件費増」の順位が入れ替わった。

また、業種別でみると、製造業、卸売業、小売業、サービス業で「諸経費増」がトップとなっており、建設業では前回調査と同様「人材不足」がトップでした。

2月24日にロシアがウクライナ侵攻してから引き起こされている原油価格や原材料の高騰が深刻な状況となっています。

※その他及び具体的な業界の問題点と新型コロナウイルスによる影響についての記載事項

①物資への影響

○原材料の価格が今後どこまで上がるのか予想がつかない。コロナで疲弊した状況の中、ますます先行きが不安になる。（製造業、他1件）

○原材料費の高騰による粗利の減少（建設業、他1件）

○原材料の高騰と不足による販売価格の上昇と品不足（卸売業、他1件）

○原油価格高騰による原資材高騰及び新型コロナウイルスによるライフスタイルの変化（サービス業）

○燃料や資材の値上げで利益率が下がる見込み。生活費の切り詰めで影響が出る予想（サービス業）

②流通の影響

○資材入荷の遅れ（建設業）

○海外生産部品が必要となる製品の調達が非常に困難になっている（卸売業）

○海外生産地のロックダウンによる納期遅延（卸売業）

○半導体をはじめ、部品不足により新車が生産出来なく、お客様を待たせている状況（小売業）

○輸入商品の仕入れができるか不安（小売業）

○半導体を使う機器等の仕入で納期遅れや、納期未定になり売上減等の影響がある（サービス業）

③人材不足の影響

- 人員確保が課題。前期からやや好転は期待できるものの低水準。今期も利益が出る状況には至らない見込み（製造業）
- 技能者不足（製造業）
- 高齢化（建設業）

④新型コロナウイルス感染症の影響

- 展示会の中止、機会損失（製造業、他 1 件）
- 中国のロックダウンにより入荷遅れがあり、運賃等も値上げがあった。（製造業）
- 非常事態宣言やまんえん防止等重点措置などの規制により、取引業務店の休業や廃業に加え、観光客や営業マンの来北も大きく減少し、当社商品の売り上げに大きく影響した。（卸売業）
- 外出をしないので新しい服が必要ない。（小売業）
- 展示会の中止（小売業）
- 人が集まるイベントの中止に大きく影響を受けている。（サービス業）

⑤その他

- 牛乳消費量の不足による、需給バランスの崩れ、生産不安、それに伴う設備投資の減少（製造業）
- 飲食店の士気低下（小売業）
- 業界に関係なく国・北海道・市・地域等の連携（意識・人・情報・事業取組）がまったくできていない、解決に取り組んでいるようにもみえない、打開策を見出すために本心での忖度なしの話し合いが必要。
- ワクチン接種率も 80% 超となり、既に新型コロナウイルス感染症はインフルエンザ以下の毒性なのにも関わらず、未だ自粛ムードが続くのは、問題と感じる。

業 況

- 製造業 ⇒ 好転（ビール製造、一般製材、鋳物製品、一般機械、木製家具）
悪化（製麺、農産物加工、看板、菓子、石材加工、石灰製品、帆布製品）
- 建設業 ⇒ 好転（該当なし）
悪化（電気工事、板金、塗装）
- 卸売業 ⇒ 好転（業務用食品、牛・豚等内臓肉販売、一般製材、機械工具、
種苗・農薬農業資材）
悪化（事務機器、作業服・事務服、建材、鉄鋼、医療機器、酒、食品、家具、
石油製品）
- 小売業 ⇒ 好転（靴、青果）
悪化（衣料品、食品、自動車、時計、生花、火薬・銃砲、酒類、米穀、ゴルフ用品）
- サービス業 ⇒ 好転（ビルメンテナンス、IT、自動車賃貸）
悪化（ホテル、飲食、クリーニング、理美容、建物清掃）

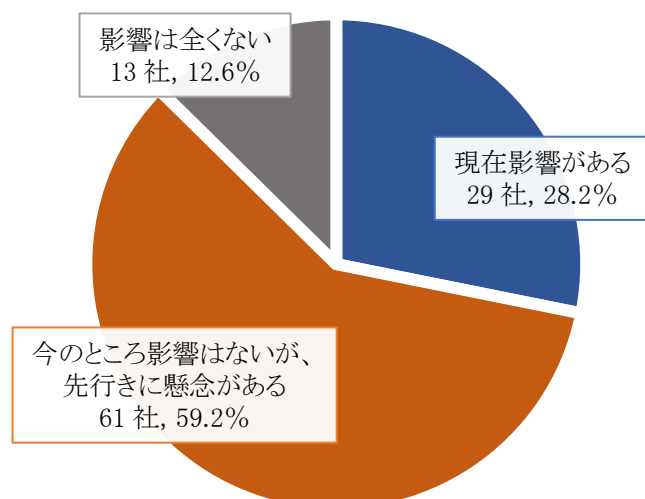
（※太字アンダーライン表示は重複該当業種）

ロシアによるウクライナ侵攻に関する影響調査

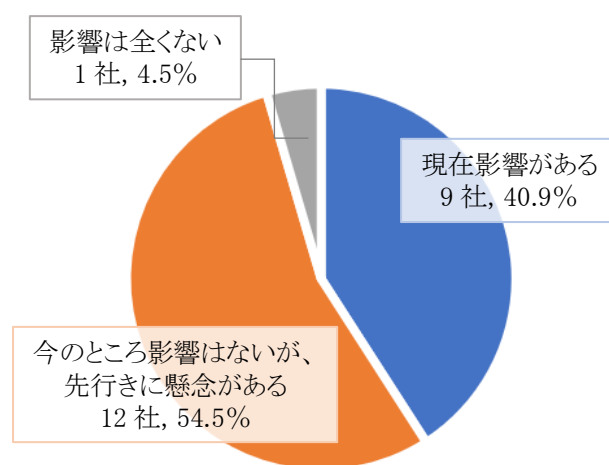
ロシアによるウクライナ侵攻による北見市内企業への影響（売上・仕入れの減少、調達コストの上昇等）について調査を実施した。

調査はインターネット（Google Forms）によって行った。

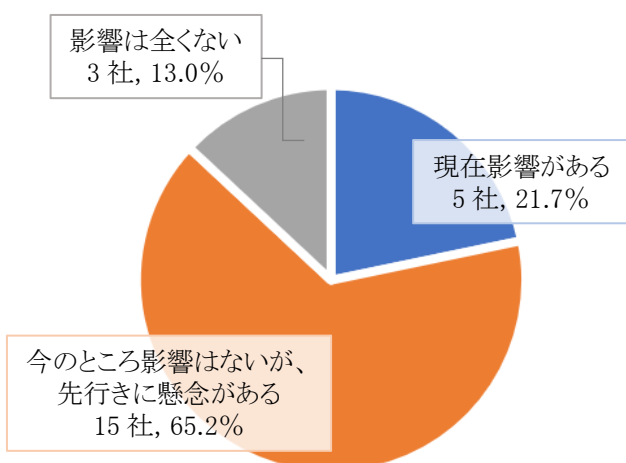
業種別の影響



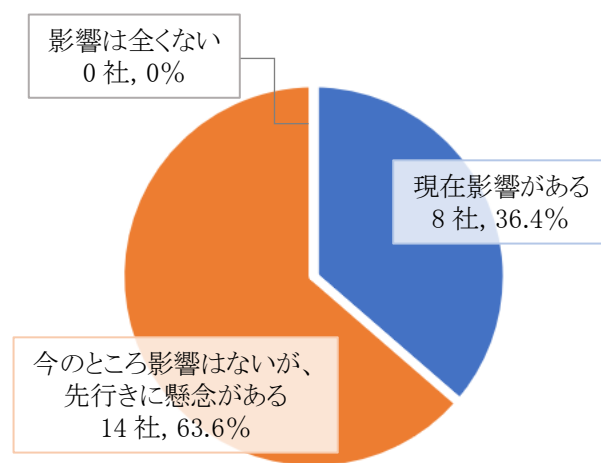
全体



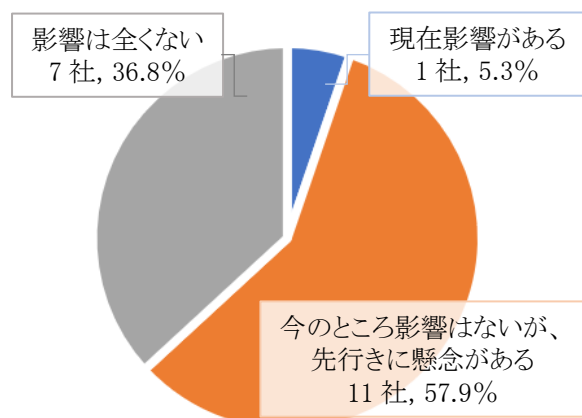
製造業



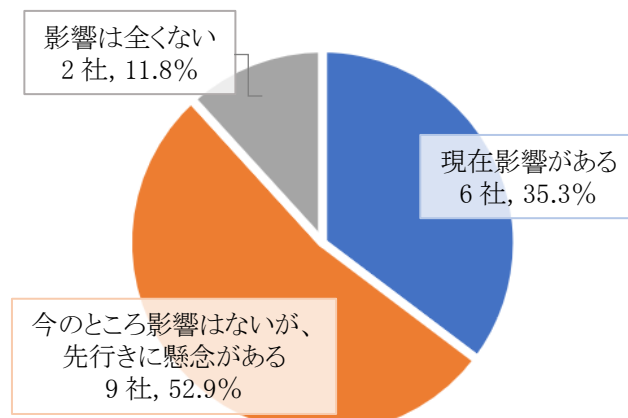
建設業



卸売業



小売業



サービス業

ロシアによるウクライナ侵攻により、売上・仕入れの減少、調達コストの上昇等への「影響がある」が全体で28.2%、「今のところ影響はないが、先行きに懸念がある」が59.2%、「影響は全くない」が12.6%で、合計87.4%の事業所が経営への影響を懸念していることが分かった。

また、業種別でみると「影響がある」、「今のところ影響はないが、先行きに懸念がある」と回答した合計割合がそれぞれ卸売業で100%、製造業で95.5%、サービス業で88.2%、建設業で87.0%、小売業で63.2%と各業界で経営への影響があると示し、原油高騰および原材料高騰による利益圧迫や、資材や部品の調達への影響等が挙げられた。

具体的な影響について

①燃料の影響

- 電気代が上がると経営は困難を極める。(製造業、他 2 件)
- エネルギーコストの増大。原材料全般の高騰 (製造業、他 2 件)
- 原油価格の上昇により、原材料などあらゆる物の価格上昇が大幅にあり、顧客に価格転嫁せざる負えない状況にある。理解してくれる顧客もあるが、今後販売価格の値上げによる顧客の流出が懸念される。(製造業)
- 運賃等の値上げが懸念 (製造業)
- 原油価格の高止まりによるガソリン・軽油の高騰 (建設業、他 3 件)
- 燃料代の高騰、輸送コストがかかる。(卸売業、他 2 件)
- 原油価格上昇、輸送費増 (小売業、他 1 件)
- 光熱費の上昇、原油高騰によるランニングコスト増 (サービス業、他 4 件)

②資材・仕入れへの影響

- 調達コストの上昇 (製造業、他 4 件)
- 建材の輸入がロシア経由の物があり、調達が難しくなると予想される。(製造業)
- ロシア産木材が全く入ってこなくなったが、他産地のものでまかなえている。(製造業)
- 包装資材のコスト・油製品のコストが増えた。(製造業)
- ニッケルマンガンの不足による鉄系材料の高騰 (製造業)
- 原材料のさらなる高騰、原材料の調達難 (建設業、他 4 件)
- 購入資材の納期遅れ (建設業)
- 物流の悪化、原材料高騰、品不足 (卸売業、他 4 件)
- プラスチック製品の値上がりによる商品価格の値上げが予想される。(卸売業)
- 輸入品等の値上げ (卸売業)
- 小麦粉の値上げ・入出荷規制など (卸売業)
- 食材、資材などの調達コスト増加、入船遅れによる在庫不足 (卸売業)
- 仕入価格の高騰、供給不安定 (小売業、他 2 件)
- 石油製品の部品の価格上昇 (小売業)
- 製品の入荷状況に影響が及ぶ可能性があり不安 (小売業)
- 原材料が輸入なので航空便など物流に不安あり (小売業)
- 資材の高騰 (サービス業、他 5 件)
- 納入食材、資材すべてが値上がりする予定 (サービス業、他 1 件)
- 食材や容器包装類など原材料費の増 (サービス業)
- 部品等の入荷停止を懸念 (サービス業)

③その他

- 活動停滞による収益減少（建設業）
- 原材料価格の騰勢によるメーカーの値上げが、需要の減少につながる（卸売業）
- 売価の上昇（小売業）
- 景気悪化（サービス業）
- ウクライナの人々、世界に及ぼす経済状況、特に日本経済、円安などについては心配（サービス業）
- ロシアによる無意味ウクライナ侵攻が早く終結、世界的経済が元に戻ってほしい。
- 一昨年から配合飼料の価格が急上昇している中、今回のロシアのウクライナ侵攻で、世界的に原油、小麦などの高騰により、配合飼料の価格上昇する要因が大きく、畜産農家の離農や廃業が増えてくるのではないかと推測される。